

**Utility Model Gazette**

Publication No.: 44-1042

Publication Date: January 17, 1969

Title: Separation Device for Fastener Made of Synthetic Resin

Application No.: 33-50176

Application Date: September 25, 1958

Applicant: Tsune UCHIJIMA

**Abstract**

Engaging elements a, a' formed by deforming a wire rod made of arbitrary synthetic resin, such as nylon, into a spiral shape are sewn on upper faces of respective opposing edges of both tapes b, b' with several strings 1, 1 and a sewing thread 2. Parts of the respective engaging elements a, a' are protruded from the opposing edges of the tapes b, b'. Both engaging elements a, a' are engaged or disengaged by the slider B. Column-shaped spaces 3, 3' are symmetrically formed in both sides of a box A with a bottom having the substantially same width and thickness as those of the box A. Respective interrupt grooves 6 are drilled in both sides plates 5, 5 near the bottom plate 4. Further, arbitrary number of engaging elements at a lower portion of one tape b' are removed, the strings 1, 1 and tape b' are fitted into one space 3', and the space 3' is filled and fixed with an arbitrary synthetic resin. In addition, engaging elements at a lower portion of another tape b, which are larger in number than the removed engaging elements a' of the tape b', are removed. The strings 1, 1 are fitted into a hollow rod-like body made of synthetic resin and having a size capable of being freely fitted in another space 3 of the box A, and then the rod-like body is filled with synthetic resin and firmly fixed, thereby forming an insertion rod C. This is bonded to an upper face of the opposing edge of the tape b.

特 許 庁

実用新案出願公告

121 A 350.3

## 実 用 新 案 公 報

昭44-1042

公告 昭44. 1.17

(全2頁)

## 合成樹脂製フアスナー用分離具

実 願 昭 33-50176  
 出 願 日 昭 33. 9. 25  
 考 案 者 出願人に同じ  
 出 願 人 内島つね  
 東京都中央区入船町319  
 代 理 人 弁理士 鈴木重義 外1名

## 図面の略解

第1図は本実用新案分離具を設けた合成樹脂製のフアスナーの拡大正面図、第2図は同上M-M線の拡大載断平面図、第3図は本案分離具の挿入杆を離脱させた状態の拡大正面図、第4図は同上N-N線の載断平面図、第5図は挿入杆の拡大平面図である。

## 実用新案の説明

本実用新案は、昭和31年特公第7377号の如き方法で作った合成樹脂製のフアスナーの分離具の考案に係るもので、ナイロンその他任意の合成樹脂製の線を螺旋状に形成した噛合子 $a$ 、 $a'$ を、数本の紐1、1及縫糸2で両テープ $b$ 、 $b'$ の各対向縁の上面に綴着して、各噛合子 $a$ 、 $a'$ の一部をテープ $b$ 、 $b'$ の対向縁より突出させて、両噛合子 $a$ 、 $a'$ をスライダ-Bにより噛合又は離脱するようにしたフアスナーに於て、スライダ-Bと略同じ幅及厚さの有底の筐体Aの両側に柱状の空所3、3'を対称的に形成すると共に、その下板4に近い両側板5、5に各割込溝6を穿ち更に一方の空所3'に、一方のテープ $b'$ の下部の噛合子 $a'$ を任意数除去して、その紐条1、1とテープ $b'$ とを嵌入し、任意の合成樹脂で該空所3'内に充填固着し、更に他方のテープ $b$ の下部の噛合子 $a$ を、前記のテープ $b'$ の噛合子 $a'$ を除去した数より任意数多く除去して、その紐条1、1を筐体Aの他方の空所3内に遊嵌し得る太さのナイロンその他の合成樹脂製の中空の棒状体内に挿入し、同じく任意の合成樹脂を以て充填固着して挿入杆Cを形成し、これをテープ $b$ の対向縁の上面に任意の合成樹脂糊又は高周波電流で接着して成るもので、スライダ-Bを筐体Aの上面に密接させた後、該挿入杆Cをスライダ-Bの他

方の案内溝より筐体の他方の空所3内に嵌合すれば、スライダ-Bを摺動し得るから、両噛合子 $a$ 、 $a'$ を噛合させ得られる。尚図中7は挿入杆Cの上部より樹立した突起で、これを噛合子 $a$ の1、2個に嵌合、合成樹脂で接着させれば、挿入杆Cを一層強固に固着し得る。

本案は上記の如く、挿入杆Cをナイロンの如き合成樹脂で作ったから、自由に弯曲し得て筐体Aの上面に密接したスライダ-Bの案内溝に挿入杆Cを挿入する際、案内溝の弯曲に従つて挿入杆Cが弯曲するから、従来の金属製の挿入杆に比し頗る軽く挿入し得るのみならず、スライダ-Bの他方の案内溝内の噛合子 $a'$ も弯曲し易い事と相俟つてスライダ-Bを非常に軽く摺動させ得て簡易に両側の噛合子 $a$ 及 $a'$ を分離又は結合させ得られ、更に各紐条1及テープ $b'$ を筐体Aの空所3'に又他方の紐条1を挿入杆Cに各任意の合成樹脂で充填固着し、且挿入杆Cを他方のテープ $b$ の上面に合成樹脂糊又は高周波電流で接着したものであるから、此等の紐条及テープを簡易且強固に固着し得る等の実用効果をも有するものである。

## 登録請求の範囲

図面に示す如く、ナイロンその他任意の合成樹脂製の線を螺旋状に形成した噛合子 $a$ 、 $a'$ を、数本の紐条1、1及縫糸2で両テープ $b$ 、 $b'$ の各対向縁の上面に綴着して、各噛合子 $a$ 、 $a'$ の一部をテープ $b$ 、 $b'$ の対向縁より突出させて、両噛合子 $a$ 、 $a'$ をスライダ-Bにより噛合又は離脱するようにした合成樹脂製のフアスナーに於て、スライダ-Bと略同じ幅及厚さを有する有底の筐体Aの両側に柱状の空所3、3'を対称的に形成すると共に、その下板4に近い両側板5、5に各割込溝6を穿ち、更に一方の空所3'に、一方のテープ $b'$ の下部の噛合子 $a'$ を任意数除去して、その紐条1、1とテープ $b'$ とを嵌入し任意の合成樹脂で該空所3'内に充填固着し、更に他方のテープ $b$ の下部の噛合子 $a$ を、前記テープ $b'$ の噛合子 $a'$ を除去した数より任意数多く除去して、その紐条1、1を、筐体Aの他方の空所3内に遊嵌し得る太さの合成樹脂製の中空の棒状体内に嵌入し、之れを合成樹脂で充填固着して挿入杆Cを形成し、これをテープ $b$ の対向縁の上面に接着して成る合成樹脂製フアスナー用分離具

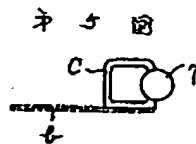
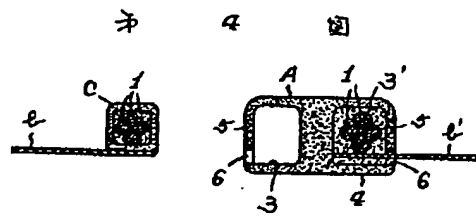
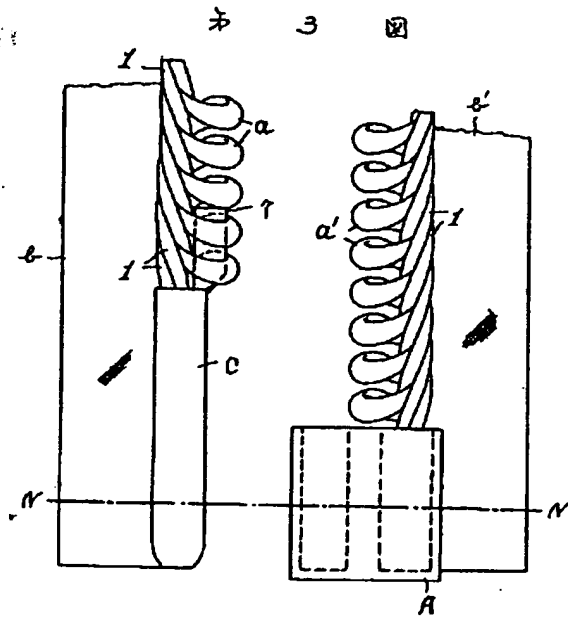
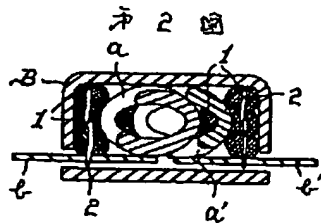
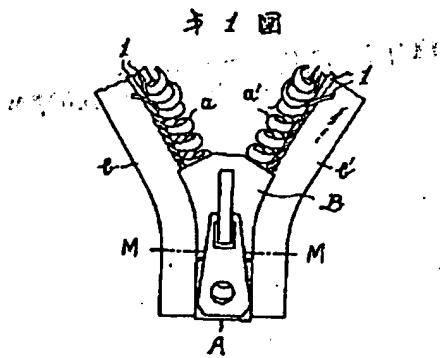
(2)

実公 昭44-1042

の構造。

引用文献

実 公 昭36-21925



**THIS PAGE BLANK (USPTO)**